

【別紙：参考資料】

■全国の雨量は、過年度と比べて約1.5倍に増加しています。

特に、6月から10月の「出水期」は、風水害への警戒が必要です。

気象庁の統計データによると、「1時間あたり50mm以上の雨」の最近10年間（2014～2023年）の平均年間発生回数（約330回）は、統計期間の最初の10年間（1976～1985年）の平均年間発生回数（約226回）と比べて約1.5倍に増加しています（図3）。

特に、6月～10月は一般的に「出水期」と呼ばれ、集中豪雨や巨大台風等が起きやすく雨量が多い時期とされています。その影響による風水害は、都内にも深刻な被害をもたらす可能性があります（図4）。

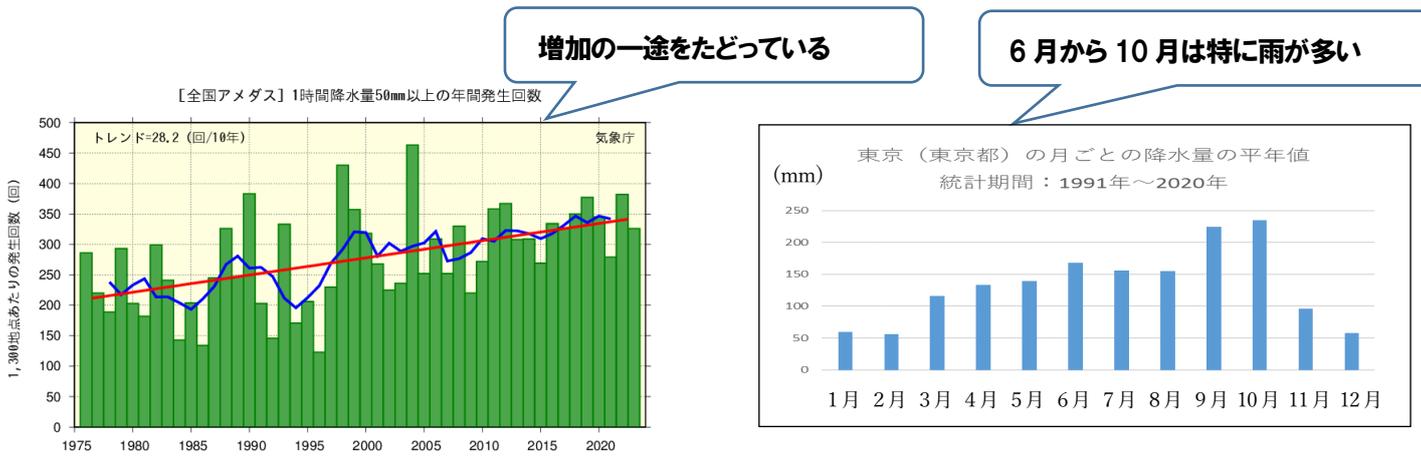


図3 1時間降水量50mm以上の年間発生回数

図4 東京（東京都）の月ごとの降水量

【データ出典】：気象庁 https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/extreme/extreme_p.html

https://www.data.jma.go.jp/abd/stats/etm/view/nml_sfc_ym.php?prec_no=44&block_no=47662&year=&month=&day=&view=1

■アプリ版「東京マイ・タイムライン」の特長

- ①ご自宅など選択した地点の河川の氾濫や土砂災害等の水害リスクを視覚的に表示（図5）
- ②スマートフォンのチャットボット機能により、質問に受け答えしながら、お住まいの地域の状況や家族構成などに応じたマイ・タイムラインを作成（図6）
- ③発災時には気象情報などのプッシュ通知により、作成したマイ・タイムラインの確認を促し、避難行動をサポート



図5 水害リスクの確認

図6 チャットボット

【アプリ版完成イメージ】

【冊子版完成イメージ】